

平成24年 7月 9日
国土交通省中部地方整備局
中部技術事務所

愛知県と合同で初めて操作訓練を実施！！

中部技術事務所は
愛知県と合同で災害対策用機械の操作訓練を実施します。

1 概要

中部技術事務所は愛知県建設部からの要望により、合同で災害対策用機械の操作訓練を実施します。

愛知県から、「災害時に中部地方整備局へ災害対策用機械の出動を依頼する可能性があることから、県においても災害対策用機械の操作技術の習得が必要である。」との要望があり、中部技術事務所と合同で操作訓練を実施することになりました。愛知県と合同で操作訓練を実施するのは、今回が初めての取り組みです。

2 内容等

日 時：平成24年 7月12日(木)
10:00～16:00

場 所：中部技術事務所構内

参加人数：約40名（中部技術事務所職員、愛知県防災協定業者等）

内 容：災害対策用機械等の操作訓練
＜実操作訓練＞排水ポンプ車、照明車
＜機能説明＞対策本部車、待機支援車、衛星通信車
分解型バックホウ

報道取材：操作訓練の全般において取材が可能です。

3 資料 添付資料

4 配布先 中部地方整備局記者クラブ

5 問合せ先 国土交通省 中部地方整備局 中部技術事務所

副所長 いそがわ 五十川 俊一 TEL:052-723-5701 (代表)
建設専門官 川口 一彦 FAX:052-723-5707

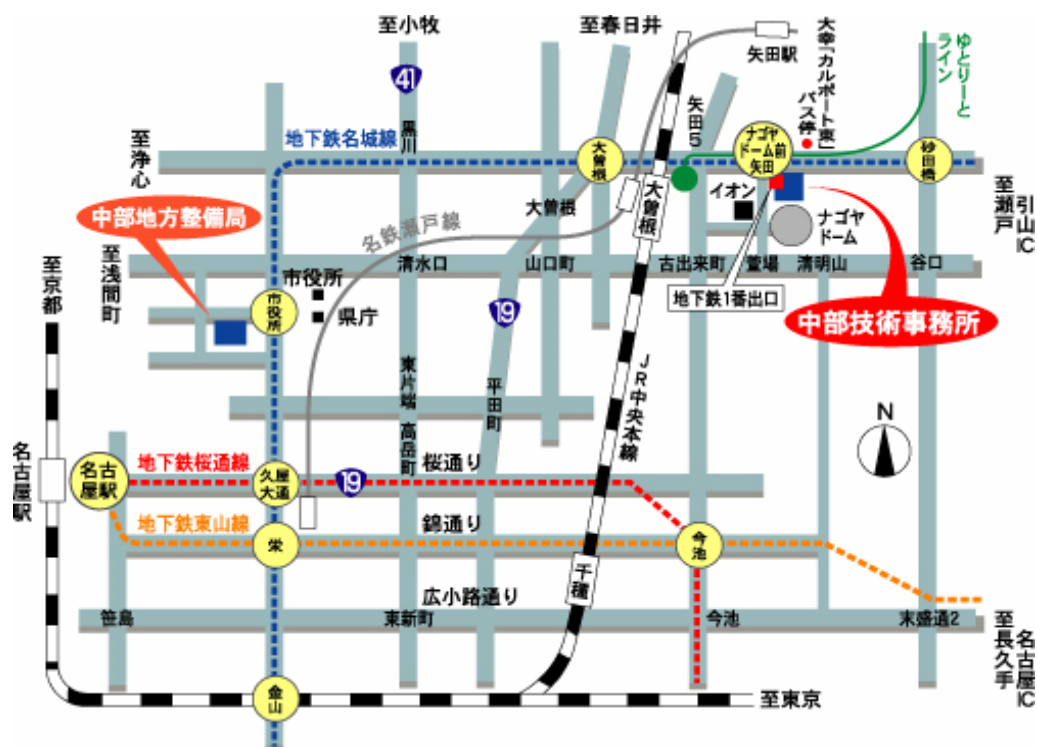


「エコチュウ」

「エコチュウ」とはエコロジーと中部技術を合わせた愛称です。

平成24年度 愛知県災害対策用機械等操作講習会会場

■ 中部技術事務所案内図



地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田駅」下車1番出口より徒歩1分
ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田駅」下車徒歩1分



〒461-0047 名古屋市東区大幸南一丁目1番15号
TEL:052-723-5701(代) / FAX:052-723-5707(代)

添付資料

平成24年度 愛知県災害対策用機械等操作講習会

<訓練スケジュール（予定）>

【7月12日（木）】

訓練対象者：愛知県

訓練対象機械：<実操作訓練>

排水ポンプ車、照明車

<機能説明>

対策本部車、待機支援車、衛星通信車、分解型バックホウ

- | | | |
|-------------|--------|-------------------|
| 1. 開会挨拶 | 10:00~ | 《中部技術事務所事務所2F会議室》 |
| 2. 座学 | 10:10~ | 《中部技術事務所事務所2F会議室》 |
| 3. 操作訓練（午前） | 11:00~ | 《中部技術事務所事務所構内》 |
| 4. 昼休み | 12:00~ | |
| 5. 操作訓練（午後） | 13:00~ | 《中部技術事務所事務所構内》 |
| 6. 閉会挨拶 | 16:00~ | 《中部技術事務所事務所2F会議室》 |

中部技術事務所の保有する災害対策用機械

中部技術事務所では、中部地方整備局管内における災害発生時の広域的な復旧活動を支援することを目的とし、災害現場における現地対策本部として使用する車両や浸水箇所の緊急排水を行う車両、夜間にわたる災害復旧時の照明を行う車両などの「災害対策用機械」を保有しています。また、平成23年3月には大規模地震による天然ダムに対応した遠隔操縦ができる分解型バックホウを導入しました。

今後も、中部地方整備局管内だけでなく近年増加している各自治体や中部地方整備局管外への支援など、多岐にわたる災害対策支援活動を実施していきます。

＜中部技術事務所が保有する災害対策用機械一覧及び訓練参考＞

名 称	規格等	台数	概 要	訓練内容
対策本部車	車体拡幅式	1	災害現場において、情報収集、応急対策の指揮を行う「現地対策本部」として使用。	展示説明
待機支援車	発動発電機付	1	長時間の災害現場で必要となる簡易ベッドやトイレを装備し、活動する人々を支援。	展示説明
照明車	25kVA 10m ブーム	3	地上 10m の高さから、災害現場を照らすことが可能。(2kW×6 灯)	設置・実操作
	25kVA 20m ブーム	3	地上 20m の高さから、災害現場を照らすことが可能。(2kW×6 灯)	設置・実操作
排水ポンプ車	60m ³ 級	3	毎分 60m ³ の排水能力。	展示説明
	40m ³ 級	1	毎分 40m ³ の排水能力があり、人力で設置可能。	展示説明
	30m ³ 級、高揚程	2	揚程 20m で毎分 30m ³ の排水能力があり、人力で設置可能。	設置・実操作
衛星通信車	発電機付	1	衛星回線を利用し、国内全域において映像、音声の通信手段を確保。	展示説明
分解型バックホウ	1.0m ³ 遠隔操縦式	2	陸送出来ない箇所は分解して空輸でき、災害現場では遠隔操縦で作業ができます。	展示説明 *デモ操作有
応急組立橋	6.5m × 40m	1(橋)	最大幅員 6.5m、最大支間 40m の仮設橋。	対象外
投下型水位計	圧力式水位計、40m	2	ヘリコプターで投下することにより、人が近づけない天然ダムなどの水位を計測しデータを送信します。	展示説明
クレーン	25t 吊	1	60m ³ 級排水ポンプの設置に使用。	展示説明

今年度に実施した操作訓練状況

中部技術事務所

添付資料

平成24年度 愛知県ブロック
春期災害対策用機械等操作訓練

開催状況

場所: 中部技術事務所構内
庄内川河川敷

新聞掲載

3紙に掲載
建通新聞、日刊工業新聞、建設通信新聞

H23年度 参加訓練写真

H23年度は5つの訓練に参加



照明車
操作訓練



対策本部車
拡幅訓練



排水ポンプ車
操作訓練
(庄内川にて)



8月28日 中津川市



8月30日 駒ヶ根市



8月7日 半田市

訓練参加者

日付	参加団体等 ()内は参加人数
5月21日 28名	中部地方整備局(10) 名古屋市(9)、豊橋市(2)、安城市(2) 豊田市(1)、清須市(1)、蟹江町(1) 美浜町(1)、飛島村(1)
5月22・23日 118名	日本建設機械施行協会中部支部(23) 愛知県建設業協会(7) 多治見建設業協会(1) 愛知道路災害対策協力会(60) 庄内川災害対策協力会(17)
6月28・29日 53名	恵南建設業協会共同組合(2) 新城建設業協会(6) 額田郡建設業組合(1) その他 (1)
合計	199名 (参加自治体 8市町村)

今後の訓練参加予定(自治体主催)

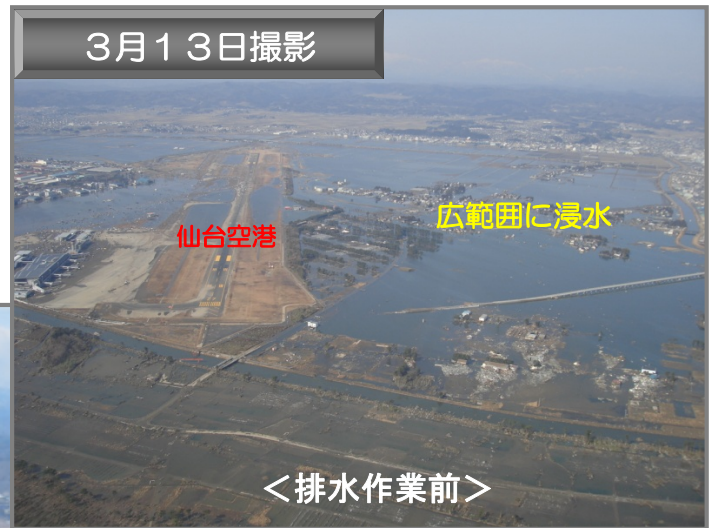
訓練名	日付	参加車両	参加団体
平成24年度 駒ヶ根市災害対策車輛 操作訓練	H24.7.17~ H24.7.18	排水ポンプ車 3台 照明車 2台 待機支援車 1台	駒ヶ根市 伊那市 天竜川上流、飯田国道、 三峰総、天ダム 中部技術 他
平成24年度 大府市地域総ぐるみ防 災訓練	H24.8.25	排水ポンプ車 1台 照明車 1台	大府市 中部技術、東海警察署、 陸上自衛隊第10師団、中 部電力 他
平成24年度 半田市防災訓練	H24.8.25	対策本部車 1台 照明車 1台	半田市 中部技術 他
平成24年度 瀬戸市防災訓練	H24.8.26	未定	瀬戸市 中部技術 他
平成24年度 岡崎市防災訓練	H24.9.2	排水ポンプ車 1台 照明車 1台	岡崎市 中部技術 他

<操作訓練参加機械>

排水ポンプ車の活躍状況（東日本大震災）

東日本大震災では、仙台空港周辺が津波により広範囲にわたって浸水。排水ポンプ車により付近一帯で大規模な排水作業を実施しました。排水作業により空港の**早期機能復旧**に役立ちました。

3月13日撮影



<排水作業前>

3月27日撮影



トンネル部の排水作業



4月2日に排水作業が完了し湛水区域が解消されました。

東日本大震災における排水ポンプ車の対応実績(中部地方整備局分)

排水地区	排水作業期間	排水ポンプ車延べ台数(台)	排水相当量(万m3)	目安(25mプールに換算すると)
宮城県東松島市	3/16~4/14(30日間)	4台	259	約7,200杯分
宮城県名取市(仙台空港周辺)	3/17~4/2(17日間)	3台	85	約2,360杯分
宮城県亶理郡亶理町	4/1~4/27(27日間)	2台	41	約1,176杯分
福島県相馬市	4/5~4/18(14日間)	2台	92	約2,560杯分
宮城県仙台市若林区荒浜	4/23~5/17(25日間)	3台	24	約696杯分
			502	約13,992杯分(東京ドーム4杯分に相当)

排水ポンプ車による排水作業